

8. 4から7までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

[1] 公共交通機関の利便性の増進及び特定事業の推進の必要性

(1) 現状分析

本市の中心市街地においては、平成8年度より大分駅付近連続立体交差事業、大分駅南土地地区画整理事業、関連街路事業が進捗中である。大分駅の2011年の一日当りの乗車人員は16,651人あり、JR九州で第4位に位置し、九州における鉄道ネットワークの拠点駅となっている。

また、大分駅と近接した中央通りには、毎日100本以上あるバス路線が集中し、公共交通利用の利便性が高い市街地であるが、市内のバス乗車人員は平成12年(14,226千人/年間)に比較して平成17年で約19%減少(11,518千人/年間)している。

中心市街地の事業所数・従業者数については、いずれも減少しており、平成14年と平成19年の比較では、事業所数で約16%、従業者数で約22%の減少となっている。

(2) 公共交通機関の利便性の増進及び特定事業の推進の必要性

少子高齢社会の到来や地球環境問題への対応、また、連続立体交差事業等の効果を鑑み、公共交通機関の利便性の向上は、中心市街地へのアクセス向上と併せた取り組みが必要である。

また、本市では「自転車が似合うまち、おおいた」をめざして「大分市自転車利用基本計画」を策定(平成18年3月)し、公共交通機関の利用促進及び渋滞対策として郊外の主要駅(鶴崎駅・坂ノ市駅)にサイクル&レールライドの促進事業として駐輪場の整備を行った。中心市街地では、自転車・歩行者が共存する安全・安心な歩道整備を推進するとともに、自転車のアクセス性の向上に向けて、駐輪場の整備を進めている。

大分駅南土地地区画整理事業では、南北駅前広場の整備を行い、連続立体交差事業と併せて交通結節機能を高めることと、「ひと中心」の都市広場としての交流機能を併せ持つ駅前広場としての空間整備を行なうこととしている。また、北口駅前広場と隣接する「交通結節機能用地」を活用して、公共交通利用促進策に繋がる土地利用について、交通事業者や関係事業者と検討を重ねているところである。

このように、公共交通機関の利便性の増進を図る事業として以下の事業等を実施する必要がある。

- ◇公共交通環境整備事業
- ◇環境にやさしい自転車のまちづくり啓発事業
- ◇中心市街地循環バス導入可能性調査事業
- ◇安全快適な自転車ネットワーク事業

(3) フォローアップ

毎年完了もしくは開始している事業について、中心市街地活性化協議会等を通じて進捗調査・分析を行い、状況の変化に応じて改善などが必要であれば、変更や事業改善策を講じる。

[2] 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業

該当なし

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名 内容及び 実施時期	実施 主体	中心市街地の活性化を 実現するための位置付け 及び必要性	支援措置の 内容及び 実施時期	その他の 事項
都市博物館モデルルート策定事業 ○公共施設案内及び通りの名称サイン設置事業。 ●平成25年度～	大分市	公共施設案内及び通りの名称サイン設置事業として、案内板や旧町名のプレート設置を行ってきた事業に引き続き、府内城下町に起源する歴史を持つ中心市街地の歴史案内マップの作成を行う。	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（大分駅周辺地区）） 平成25年度	
観光案内サイン設置事業 ○大分市の観光施設の案内板を駅周辺に設置する。 ●平成26年度	大分市	大分駅府内中央口近辺において、来訪者に対する大分市の観光施設等の情報提供を行う設備設置を行う。	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（大分市中心市街地地区）） 平成26年度	
デジタルサイン型案内板設置事業 ○来街者に中心市街地のリアルタイム情報を提供する案内板を設置する。 ●平成26年度	大分市	来街者に対して様々なまちなか情報を随時提供することにより人々の交流の推進とにぎわい創出、回遊性の向上を図る	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（大分市中心市街地地区）） 平成26年度	

<p>市道中央町・南春日線シェルター設置事業</p> <p>○商店街から県立美術館につながる歩道空間にシェルターを設置する。</p> <p>●平成26年度</p>	<p>大分市</p>	<p>商店街アーケードから県立美術館に至る歩道空間について、シェルターの整備により天候に左右されない快適な歩行空間を提供し、商店街と県立美術館相互の交流・回遊性を高め、にぎわい創出に繋げる</p>	<p>社会資本整備総合交付金 （都市再生整備計画事業（大分市中心市街地地区）） 平成26年度</p>	
<p>大分都心南北軸トータルデザイン策定調査</p> <p>○市民の意向や専門知識を持ったデザインアドバイザーからの意見を取りまとめ、高質な都市空間の整備に繋げる</p> <p>●平成26年度</p>	<p>大分市</p>	<p>大分都心南北軸について、幅広い知識と経験を持ったデザインアドバイザーの力を借りながら市民意見・意向を反映し、周辺の民有空間も含めたトータルデザインによる一体的な都市空間の形成を図り、沿道のにぎわい創出や回遊性の向上に繋げる。</p>	<p>社会資本整備総合交付金 （都市再生整備計画事業（大分市中心市街地地区）） 平成26年度</p>	
<p>環境にやさしい自転車のまちづくり啓発事業</p> <p>○放置自転車対策や啓発活動、レンタサイクル事業、自転車関連イベント等</p> <p>●平成21年度～</p>	<p>大分市</p>	<p>放置自転車対策や、自転車マナーアップ事業、おでかけ自転車マナーアップ教室、レンタサイクル事業等を展開し、自転車利用者のマナーアップ・安全利用の促進を図るとともに、全国規模の自転車競技会をはじめとする自転車関連イベントの実施による自転車の利用促進と賑わいの創出を図る。</p> 	<p>社会資本整備総合交付金 （都市再生整備計画事業（大分駅周辺地区）） 平成25年度</p> <p>社会資本整備総合交付金 （都市再生整備計画事業（大分市中心市街地地区）） 平成26年度</p>	

<p>中心市街地循環バス導入可能性調査事業</p> <p>○中心市街地での民間による循環バス導入の可能性調査</p> <p>●平成24年度～平成29年度</p>	大分市	<p>中心市街地に整備される「ホルトホール大分」「県立美術館」などの集客施設や文化施設の回遊性向上のため、多くの関係者に参画して頂くため、民間での循環バス導入の可能性調査を行う。</p>	<p>社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（大分市中心市街地地区））</p> <p>平成27年度～平成29年度</p>	
<p>府内城宗門櫓復元公開活用事業</p> <p>○宗門櫓を復元し公開するとともに復元過程の公開・情報発信も行う。</p> <p>●平成28年度～平成30年度</p>	大分市	<p>府内城跡で2棟のみ残る江戸時代の建物である宗門櫓を復元・公開するとともに、稀有な機会である復元過程の公開も行うことで、府内城のもつ観光資源としての訴求力を引き上げ、中心市街地を経由して府内城に至るルートの魅力を高め、県立美術館も含めた回遊性の向上や、滞在時間の延長につなげる。</p>	<p>社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（大分市中心市街地地区））</p> <p>平成28年度～平成30年度</p>	

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名 内容及び 実施時期	実施 主体	中心市街地の活性化を 実現するための位置付け 及び必要性	支援措置の 内容及び 実施時期	その他の 事項
<p>大分駅南土地区画整理事業（再掲）</p> <p>○公共施設整備や都市型住宅地の整備を行い、中心市街地にふさわしい地区を創出する。</p> <p>●平成8年度～平成28年度</p>	大分市	<p>中心市街地において、質の高い良好な市街地環境の整備を行うことで、都心居住の推進を目指す。</p> <p>また、併せて整備される南北駅前広場は交通・交流機能を高める都市広場としての整備を行い、中心市街地の活性化に必要である。</p>	<p>社会資本整備総合交付金（道路事業（区画））</p> <p>平成7年度～平成27年度</p>	

大分駅付近連続立体交差事業 ○大分駅を中心とした南北市街地の一体化事業 ●平成8年度～平成25年度	大分県	中心市街地の南北の地域分断を解消し、南北市街地間の一体的な発展を促進する事業であり、中心市街地の活性化に必要である。	社会資本整備総合交付金（道路事業（街路）） 平成8年度～平成25年度	
公共交通環境整備事業 ○交通結節機能用地及び高架下にタクシー待機場を整備する ●平成24年度～平成26年度	大分市	南北駅前広場整備に伴い、広場の景観向上や円滑な交通処理を行うため、交通結節機能用地及び高架下にタクシー待機場を整備し、タクシーショットガンシステムの構築を図る。	社会資本整備総合交付金（道路事業（区画）） 平成24年度～平成25年度	

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

県立美術館まちなか支局運営事業 ○中心市街地に「県立美術館まちなか支局」を設置し、美術館活動の基盤作りを行う ●平成24年度～平成26年度	大分県 ・財団法人大分県文化スポーツ振興財団	大分市中心部（竹町通商店街内）に情報発信拠点として「県立美術館まちなか支局」を設置し、美術館に関する情報発信や収蔵作品の紹介、県民向けイベント、商店街と連携した勉強会等を行うことから中心市街地活性化に必要な事業である。	緊急雇用創出事業 平成24年度～	
大分県立芸術文化ゾーン創造事業 ○芸術文化創造の拠点として地域力アップと商店街連携による回遊性や賑わいの向上を図る ●平成24年～	財団法人大分県文化スポーツ振興財団	県立美術館の開館に向けて県立総合文化センターで各種公演の実施などにより、芸術文化創造の拠点としての地域力アップを図るとともに、商店街との連携による割引等のサービスを実施することで回遊性や賑わいの向上を図る。	劇場・音楽堂活性化事業 平成24年度～	

<p>安全快適な自転車走行ネットワーク事業</p> <p>○中心市街地において、自転車の走行空間を創り、人の安全空間と自転車交通環境を構築する</p> <p>●平成 24 年度～</p>	<p>大分市</p>	<p>人を中心とした安心・安全空間の確保や、自転車走行ネットワークの構築を図るための基盤整備を行い、中心市街地を誰もが安心・安全に通行でき、気軽に自転車を利用して訪れることができる「自転車が似合うまち」として整備する。</p>	<p>防災・安全交付金（道路事業）</p> <p>平成 27 年度～平成 32 年度</p>	
<p>アートを活かしたまちづくり事業</p> <p>○トイレの芸術作品化や芸術祭の開催になどにより、新しい魅力の発信やにぎわいの創出を図る。</p> <p>●平成 25 年度～平成 29 年度</p>	<p>大分市</p>	<p>中心市街地において、アートを活かしたトイレ空間の装飾やトイレを題材にした芸術祭の開催、芸術作品の設置など、新たな魅力の創出により中心市街地の活性化を推進する。</p>	<p>文化芸術振興費補助金（文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業）</p> <p>平成 27 年度～平成 29 年度</p>	
<p>宝のまち・豊後 FUNAI 芸術祭</p> <p>○個性豊かな文化・芸術の創造と発信</p> <p>●平成 27 年度～</p>	<p>大分市</p>	<p>大分市の文化施設各館の持つ特性を活かしたさまざまな公演や催しを行う「ホール事業」や、中心市街地でのにぎわい創出を目的とした文化・芸術イベントを行う「にぎわい事業」を開催し、文化・芸術の持つ創造性を活かした活気ある魅力的なまちづくりの実現を目指す。</p>	<p>文化芸術振興費補助金（文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業）</p> <p>平成 28 年度～</p>	

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名 内容及び 実施時期	実施 主体	中心市街地の活性化を 実現するための位置付け 及び必要性	支援措置の 内容及び 実施時期	その他の 事項
<p>大友氏遺跡情報 発信事業</p> <p>○郷土の英雄大友宗麟公や大友遺跡について市内外に情報を発信する</p> <p>●平成 24 年度 ～</p>	大分市	中心市街地にて講演会等のイベントを実施し回遊性を持たせることにより、賑わいの創出を図る。		
<p>ご近所の底力再生事業</p> <p>○地域コミュニティ再生の為の支援事業</p> <p>●平成 18 年度 ～</p>	自治会	地域コミュニティの再生のため、中心市街地においても地域の課題解決やふれあいの場づくりなど、住民が力を合わせて主体的に取り組む事業に対して支援を行う。	<p>活動状況</p> 	
<p>おおいた夢色音楽プロジェクト</p> <p>○音楽の溢れる街づくり</p> <p>●平成 20 年度 ～</p>	実行委員会、大分市	鑑賞・参加・育成型のイベントを実施し、音楽の溢れるまちを創出する。音楽文化の振興を図るとともに、中心市街地の新たな魅力として、全国に情報発信し、観光客の増加などをめざし、中心市街地の活性化のために必要である。		
<p>大分市高齢者ワンコインバス事業</p> <p>○高齢者の公共交通の利便性の増進</p> <p>●平成 16 年度 ～</p>	大分市	高齢者の健康維持・増進、積極的な社会参加の促進と生きがいづくりを図り、郊外部と中心市街地とのアクセス向上も含めた、高齢者(70歳以上)の路線バス利用を促進させる。		

<p>「B - STOP R」事業</p> <p>○広告付きバス 停上屋の設置</p> <p>●平成 20 年度 ～</p>	<p>エムシー ドゥコー (株)、大分 バス(株)、 大分交通 (株)</p>	<p>広告パネルつきバス停シェル ターを設けることは、利用者 に快適なバス待ちの時間が提 供できるとともに、夜間点灯 による防犯効果などによるバ ス利用の促進が期待できるこ とから、中心市街地の活性化 に必要な事業である。</p>		
<p>マッチクリエイトの活動による にぎわい創出事業</p> <p>○まちなかでの イベントや市民 活動を進める。</p> <p>●平成 24 年度 ～</p>	<p>大分ま ちなか 倶楽部 マッ チク リエ イト</p>	<p>大分まちなか倶楽部が推進 するエリアマネジメントの一 環であるイベント連携組織 「マッチクリエイト」による 中心市街地活性化エリアにお けるコミュニティ連携による 戦略的で活発な市民活動やイ ベントの実施や、情報の集約 などにより、持続可能な賑わ いの創出と効率的なイベント 等の開催が可能となることか ら、中心市街地活性化に必要 な事業である。</p>		
<p>マッチクリエイト支援策「マッ チバコ」の推進</p> <p>○まちなかでの 市民活動事業推 進に対する財源 確保</p> <p>●平成 24 年～</p>	<p>大分ま ちなか 倶楽部</p>	<p>今後、中心市街地で市民活動 やイベント推進を中心的に進 める、マッチクリエイトなど の経費の面からの活動を支え るための取組みであり、中心 部のにぎわい創出を支えるた めに必要な取組みである。</p>		
<p>リノベーション 推進事業</p> <p>○低未利用建築 物をリノベーシ ョンすることで 利用効率の向上 を図る</p> <p>●平成 25 年～</p>	<p>リノベ ーショ ン推 進 協 議 会</p>	<p>今後、中心部に発生する低未 利用の商業ビル等について、 利用形態を住居等に変更する ことで、建物の利用効率の向 上を図ることは、既存スタッ クの有効活用に繋がることか ら、中心市街地活性化に必要 な事業である。</p>		

<p>ファンドの設立</p> <p>○公共や民間が参加して、まちづくりファンドの設立に向けて検討する</p> <p>●平成 24 年～</p>	<p>大分市 大分まちなか倶楽部 商店街 その他</p>	<p>今後のまちづくりの推進を図るため、市や民間事業者などが参加して事業の推進をサポートする住民参加型まちづくりファンドの設立について検討する。</p>		
<p>中心市街地賑わい創出実証実験</p> <p>○中央通りの人優先空間の再整備に向けて実証実験を行う。</p> <p>●平成 25 年</p>	<p>大分市 大分まちなか倶楽部 その他</p>	<p>中央通りを賑わい拠点とするための活用方法や環境整備、公共交通や周辺の交通に与える影響について実証実験を行い、ひと優先の安心安全で快適な公共空間の実現に向けて意識の醸成を図るとともに、官民で課題解決に向けて取り組みを進める。</p>		
<p>まちなかアートギャラリー推進事業</p> <p>○大分駅から県立美術館までの動線となる中心市街地を舞台に、優れた作品の発表機会や鑑賞機会を提供する</p> <p>●平成 24 年度～平成 26 年度</p>	<p>大分県 竹町通 商店街 中央町 商店街</p>	<p>優れた芸術作品（絵画・彫刻等）の発表や鑑賞を行うことで、来街者の目を楽しませ心を豊かにするとともに、心豊かな子どもの育成に繋がることなどから、県立美術館開館に向けた気運の醸成と中心市街地活性化に必要な事業である。</p> <p>①アートカフェ事業 ②クリエイターズドームCREDOとの連携ソフトイベント展開 ③大学の学生グループとの連携した大規模アートイベント ④トリックアートの実施</p>		

<p>県立美術館ペDESTリアンデッキ建設事業</p> <p>○県立美術館と隣接する県立総合文化センターの間にペDESTリアンデッキを架設し回遊性の向上を図る</p> <p>●平成 24 年 ～平成 26 年</p>	<p>大分県</p>	<p>県立美術館と隣接する県立総合文化センターの間にペDESTリアンデッキを架設することでまちと美術館との回遊性を向上させる。</p>		
<p>宝のまち・豊後 FUNAI 芸術祭（再掲）</p> <p>○個性豊かな文化・芸術の創造と発信</p> <p>●平成 27 年度 ～</p>	<p>大分市</p>	<p>大分市の文化施設各館の持つ特性を活かしたさまざまな公演や催しを行う「ホール事業」や、中心市街地でのにぎわい創出を目的とした文化・芸術イベントを行う「にぎわい事業」を開催し、文化・芸術の持つ創造性を活かした活気ある魅力的なまちづくりの実現を目指す。</p>	<p>地域の文化・芸術活動助成事業（創造プログラム）</p> <p>平成 28 年度 ～</p>	